

宇電懇 ニュース No 31

1974. 12. 20 宇宙電波懇談会事務局
(名古屋物理)

※ 宇電懇 シンポ「干渉計による天文学」開催

今年度の宇電懇シンポジウムが 12月1日～3日まで静岡県稲取保養所において開催され、のべ46人が参加した。

特に現在計画されている干渉計で何かできるのかを中心に45分中によるVLBI計画まで含めて活発な討論が行われた。

具体的な提案が少くなされ、これらは集録にまとめる予定。

一度 模範的な観測申し込み書を書いてみると一層具体化するだろうし、実際どんなことが必要かということがわかるだろうということになり、その場で別紙の申し込み書なるものが考えられ、これも集録にのせることにした。

シンポの時、具体的な形では提案しなかった人、シンポに参加しなかった人も積極的な観測申し込みをお願するものです。

なお干渉計の具体的な仕様は、天文研連、大望遠鏡小委員会発行「大型宇宙電波望遠鏡計画」、宇電懇発行「電波天文観測法の展望」と参照。

シンポの時 具体的な形では提案しなかった人、シンポに参加しなかった人も
積極的に観測申込みをお願ひするものです。

なお干渉計の具体的な仕様は 天文研連 大望遠鏡小委員会発行「大型宇宙
電波望遠鏡計画」 宇電総発行「電波天文観測法の展望」と参照

模範観測申込み 締切

1975年 1月15日必着

宛先

宇電総事務局

(出来上りはA4サイズにすること注意)

※ 新入会員

斉藤 修二

相模中央化学研究所

※ 上記シンポの最終日には URSI オ5分科会 開催される。

(詳細は次号 News 掲載予定)

・ 名大理 35GHz 16素子干渉計のアンテナが12月18日に搬入される。

(来年度完成予定)

5素子超合成干渉計観測申し込み書

1. 氏名 _____ 所属 _____ 参加者数 _____ 名

2. 観測題目 _____

3. 観測目的と特色 (どんな観測を、どのような研究をするか)

4. 対象についての簡単な説明

5. 必要な観測日数と時期 (1日かどう、速い Mapping が必要か等)

4. 対象についての簡単な説明

5. 必要な観測日数と時期 (1日中かどうか, 速に Mapping が必要か等)

6. 受信方式 (周波数, フォード, Polarization か Line か, 両方か, その他)

7. 合成方式 (full synthesis か grating synthesis か, position 観測か, 動かさず, 45m 中 必要か等).

8. その他 (Data processing の内容, 手法, "CLEAN" が 必要かどうか等)